

報告事項才

平成29年度全国学力・学習状況調査の実施について

平成29年度全国学力・学習状況調査の実施について、別紙のとおり報告します。

平成29年3月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成29年度全国学力・学習状況調査の実施について

平成29年3月18日
小中学校課
県教育センター

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査について

(1) 本体調査

- ◇調査実施日 平成29年4月18日（火）
- ◇調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年
- ◇調査内容
 - ①教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・主として「知識」に関する問題
 - ・主として「活用」に関する問題
 - ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査
- ◇調査方式 全数（悉皆）調査方式で実施（参照：資料1）
→実施学校数等は資料2のとおり

(2) 保護者に対する調査

- ◇調査実施日 平成29年5月8日（月）から5月29日（月）の期間のうち、調査の対象となった学校が実施可能な期間
- ◇調査対象 無作為に抽出された公立学校において、本体調査を受けた児童生徒の保護者
- ◇調査内容 家庭状況と児童生徒の学力等の関係について分析するために、児童生徒の家庭における状況、保護者の教育に関する考え方等に関する調査を実施する。

(3) その他（参考）

<平成30年度予定>

- ・調査日：平成30年4月17日（火）
- ・全数（悉皆）調査方式で実施予定（国語、算数・数学、理科）
- ・平成31年度に実施予定の中学校における英語調査に向けた予備調査を抽出方式で実施予定

3 県独自の抽出分析調査について

対象児童・生徒が抽出したデータを基に、いち早く本県の傾向を分析し、年度の早い段階で抽出調査結果として提示することで、県内における児童生徒の学力状況をもとに、各学校での早期の指導改善・授業改善を図ることを目的として実施する。

抽出分析調査結果については、各学校へ提供するとともに、県教育委員会HPに掲載する予定である。

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の実施予定について

平成 29 年 4 月 18 日に実施される平成 29 年度全国学力・学習状況調査（全数調査）の鳥取県内公立学校の実施予定校数と児童生徒数です。※公立学校のみ

【学校数】

	調査対象校	実施予定校	実施率
小学校(6年)	125校	125校	100%
中学校(3年)	59校 ※分校2校含む	59校 ※分校2校含む	100%
特別支援学校	6校 ※小：3校 ※中：3校	6校 ※小：3校 ※中：3校	100%
合 計	190校	190校	100%

※隼小学校、大江小学校の2校が船岡小学校に統合、丹比小学校、安部小学校の2校が八東小学校に統合されるため、小学校の学校数が4校減

【児童生徒数】

	(人) 参加人数
小学校(6年)	約4,900
中学校(3年)	約4,900
合 計	約9,800

※平成 28 年度「学校便覧」の小学校 5 年生の児童数及び中学校 2 年生の生徒数を参照